



風と緑と太陽



「また明日ね」「うん、また明日!」

校長 野田 恵美

今年の入学式や始業式は、池を渡る風が子供たちを迎え、暖かな日差しが、子供たちの入学や進学をお祝いしているかのようでした。86名の新入生を迎えて、全校児童608名で令和7年度のスタートを切りました。

私は、この4月の異動で 大澤禎一 前校長先生の後任として着任しました 野田恵美 と申します。愛知県教育委員会海部教育事務所より赴任してまいりました。平成18年度は担任として、平成30年度からは教頭としてこの城山小学校でお世話になり、今回3度目の勤務となります。この素敵な「ご縁」を心よりうれしく思います。いつの時代も保護者の皆様や地域の皆様には温かく支えていただいたことを思い出します。本当にありがとうございました。

明るく、元気な城山の子供たちが1日のおわりに「また明日ね」「うん、また明日!」と次の日を楽しみにしながら、笑顔で手を振って別れられる学校、教職員が「明日は子供たちにどのように学んでもらおうかな」と楽しみになる学校づくりを目指していきます。

子供たちは、本日新しい先生やクラスメイトと出会い、教室の様子も変わりました。ぴかぴかの教科書を開くと、心が踊り、やる気が満ちてきます。また、新しいものと出会ったときには数多くの発見があります。始業式では、子供たちに「発見名人になってください」と話しました。数多くの発見をする子はそれだけ多くの「ハテナ(問い)」も見つけられます。「ハテナ」を解決するために、考える力が伸びます。解決するために自分以外の人の意見を聞き、話し合うことで、新たな方法が見つかります。一人でコツコツと学ぶことも大切ですが、関わり合いながら共に学ぶことはさらに大切です。ご家庭でも、どんな発見があったかを話題にさせていただけると幸いです。



職員一同、子供たちの成長のために、誠心誠意尽力いたしますので、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力、ご支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

■「町・自然・人」笑顔いっぱい、城山っ子の育成 バージョンアップします!■

これまで、地域の方たちとの出会いやふれあい、地域での体験を通して、地域を大切に思う心を育むよう、取組を行って参りました。今年度は、もう一步踏み込んだ深い学びにするため、「地域の行事」に関わる内容を「総合的な学習の時間」の指導計画の中に位置づけました。



まずは様々な活動に参加することからはじめ、運営に携わる方々に着目したり、地域の方の工夫を学んだり、自分たちで提案をしたりする計画です。最終学年では、自分が地域の一員として、今後何ができるかなどを考えていきます。これは、大切なキャリア教育の一環でもあります。ぜひ、「町・自然・人」を子供たちと一緒に考え、語り、活動を支えていただきますよう、お願いいたします。